

令和5年第4回高梁市教育委員会（定例）会議録

1. 招 集 令和5年3月23日 午前10時00分
2. 開 会 令和5年3月23日 午前10時00分
3. 閉 会 令和5年3月23日 午前11時40分
4. 会議の種別 定例会（第1日）
5. 会議の場所 高梁市役所 4階会議室1・2
6. 出席、欠席した委員の番号及び氏名

委員の氏名	出欠の別	備 考
渡 邊 あ り さ	出 席	
吉 川 昭	出 席	
川 上 は る 江	出 席	
西 井 道 治	出 席	

7. 説明のため会議に出席を求められた者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
—	—	

8. 会議に出席した者の職氏名

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	小 田 幸 伸	
教 育 次 長	上 森 智 子	
参 与	福 原 洋 子	
参 与	田 村 啓 介	
教 育 総 務 課 長	藤 井 聡 美	
こ ど も 教 育 課 長	荒 田 真 一	
社 会 教 育 課 長	伊 丹 誠	
ス ポ ー ツ 振 興 課 主 幹	五 百 蔵 実	
教 育 総 務 課 総 務 係 長	福 本 真 紀 子	

9. 会議に付した議案の題目及びその結果

議案番号	件 名	結果
議案第24号	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案第25号	高梁市公民館長の任命について	可決
議案第26号	高梁市高梁中央公民館運営審議会委員の任命について	可決
議案第27号	高梁市文化財保護審議会委員の委嘱について	可決
議案第28号	高梁市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について	可決
議案第29号	高梁市立巨瀬学園学校運営協議会委員の委嘱について	可決
議案第30号	高梁市適応指導教室遠距離通室費補助金交付要綱の改正について	可決
議案第31号	区域外就学の許可について	可決
議案第32号	区域外就学の許可について	可決
議案第33号	就学学校変更の許可について	可決
議案第34号	職員の懲戒等処分について	可決

10. 会議録署名委員の氏名

吉川 昭

川上 はる江

11. 議事の内容

別紙会議議事要録のとおり

第4回教育委員会（定例）会議議事要録

1. 開会

教育長あいさつ

第4回高梁市教育委員会（定例会）を始めます。

本日はご多忙のところご参集いただきありがとうございます。

3月議会も残すところあと1日となっています。新型コロナウイルス感染症法に基づく分類が2類から5類になり、市の対応も3月28日から一部のセクションを除きマスクの着用が任意となる予定です。WBCも感動の中で終わり、市の人事異動、学校園の人事異動も終わり、いよいよ新年度を迎えます。詳しくは教育長報告及びその他でお話しします。

本日は議案10件です。よろしくお願いいたします。

2. 前回教育委員会の報告

教育長	前回の報告に対する質問、意見等はあるか。 なければ承認の挙手を願いたい。 (全員挙手)
教育長	前回の会議録は、承認する。

3. 教育長の報告

(1) 議会関係

3月6日(月)	本会議
3月10日(金) ～3月14日(火)	本会議(一般質問)
3月16日(木)	本会議(議案質疑)
3月17日(金)	常任委員会

(2) 行事等

2月21日(火)	県立学校の在り方を考える協議会 ライオンズクラブなわとび贈呈式
2月23日(木)	日本遺産センターオープン
2月24日(金)	松原小学校の在り方を考える会来庁
2月27日(月)	高梁市立図書館協議会 松山城整備委員会 ヒルクライムチャレンジシリーズ高梁吹屋ふるさと村大会実行委員会
3月3日(金)	順正高等看護福祉専門学校卒業証書授与式・閉校式
3月4日(土)	高梁地域づくり交流会30周年記念式典
3月5日(日)	孤城春たりを楽しく読む会
3月9日(木)	臨時教育委員会
3月12日(日)	広がる子どもの夢事業(備中町フリークライミング) 日本遺産センターオープンイベント
3月15日(水)	全国大会壮行会 ・全国高等学校ライフル射撃競技選抜大会

	・都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会 ・MISS DANCE DRILL TEAM INTERNATIONAL IN USA ・全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会 ・全国高等学校柔道選手権大会 ・日本少年野球春季全国大会 ・全日本選抜少年野球U-12 チャンピオン大会
3 月 19 日（日）	高梁高等学校スプリングコンサート
3 月 20 日（月）	高梁南幼稚園閉園式

4. 議事

社会教育課長	議案第 24 号「専決処分の承認を求めることについて」専決第 2 号「高梁市人権教育推進委員会委員の任命について」は議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か意見等はあるか。なければ承認に賛成の方は、挙手願う。
教育長	（全員挙手）
教育長	専決第 2 号は承認する。
教育長	議案第 25 号及び 26 号については関連があるので一括して説明を願う。
社会教育課長	議案第 25 号「高梁市公民館長の任命について」
	議案第 26 号「高梁市高梁中央公民館運営審議会委員の任命について」は議案に沿って事務局より説明。
教育長	議案第 25 号及び 26 号について何か質問等はあるか。なければ一括して可決に賛成の方は、挙手願う。
教育長	（全員挙手）
教育長	議案第 25 号及び 26 号は、原案のとおり可決する。
社会教育課長	議案第 27 号「高梁市文化財保護審議会委員の委嘱について」は議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か質問等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。
教育長	（全員挙手）
教育長	議案第 27 号は、原案のとおり可決する。
社会教育課長	議案第 28 号「高梁市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について」は議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か質問等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。
教育長	（全員挙手）
教育長	議案第 28 号は、原案のとおり可決する。
こども教育課長	議案第 29 号「高梁市立巨瀬学園学校運営協議会委員の委嘱について」は議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か質問等はあるか。なければ可決に賛成の方は、挙手願う。
教育長	（全員挙手）
教育長	議案第 29 号は、原案のとおり可決する。
こども教育課長	議案第 30 号「高梁市適応指導教室遠距離通室費補助金交付要綱の改正について」は議案に沿って事務局より説明。
教育長	何か質問等はあるか。
教育委員	現在適応指導教室に児童生徒がどのくらい通室しているのか。また、自家用車での送迎によりこの補助金を受けている児童生徒数が分かれば教えていただきたい。
こども教育課長	調べて後ほど回答する。

教育長 教育委員 教育長	他に何かあるか。採決は先ほどの質問を回答後にしたほうがよい。 議決に影響しないので採決していただいてよい。 可決に賛成の方は、挙手願う。 (全員挙手)
教育長 こども教育課長	議案第30号は、原案のとおり可決する。 (委員会開催中に回答) 現在小中学生併せて16名が通室している。内訳は小学生8名、中学生8名。そのうち補助金対象者は6名。
教育長 こども教育課長	議案第31号から33号については関連があるので一括して説明を願う。 議案第31号「区域外就学の許可について」 議案第32号「区域外就学の許可について」 議案第33号「就学学校変更の許可について」は議案に沿って事務局より説明。 (議事内容については、高梁市教育委員会会議規則第18条第1項第4号に基づき、非公開)
教育総務課長	議案第34号「職員の懲戒等処分について」は議案に沿って事務局より説明。 (議事内容については、高梁市教育委員会会議規則第18条第1項第4号に基づき、非公開)

5. その他

- (1) 令和5年度高梁市人事異動について(教育次長)
- (2) 成羽美術館特別展について(社会教育課長)
- (3) 山田方谷カレンダーについて(こども教育課)
- (4) 吉備国際大学シャルム岡山高梁プレシーズンマッチについて(スポーツ振興課)
- (5) フィンランドの教育事情調査について(教育委員)

教育委員	フィンランド教育事情調査へ参加した。まず一番感じたのは教育に対する平等が徹底されているということ。フィンランドでは大学院まで無償で進学できる。そして合理的であるということ。組織がスリム化されていて、会議が少ないなど無駄がない。子どもたちの学力は非常に高く、日本とは対極の教育がされている。学歴社会ではなく学習歴社会で、進学は試験や偏差値で決まるのではなく、面談をしながら子どもの意思で決めていく。評価の仕方も日本とは違って、子どもが自己評価したものに教師がコメントし、子どもたちは次の目標を自分で見つけていく。今探究学習をよく言われるが、フィンランドは元々探究学習をしているところへ、クロスカリキュラムを取り入れている。教科学習は課題解決が多く、たくさん考えて書かせる。 フィンランドでは校長が人事権と予算権を持っていて、学校建設にも携わる。職員の採用も校長が面談して決定する。分散型リーダーシップという考え方で、校長一人が全てを掌握するのではなく、分散して各リーダーに任せる。リーダー育成に力を入れ、高度な専門組織で学校を運営していく。 フィンランドの教育課程は、国の定めるコア・カリキュラムに基づくが縛りが少ない。国が地方自治体を、自治体は校長を信頼して任せている。教育内容は教師の裁量が大きく、指導方法等は教師に任される。学校行事はほとんどなく、教科書や文房具も学校にあるものを使う。 日本の教育改善に活かす点としては、働き方について個人の意識を変えること。よく休み、よく働く。学習環境について、ユニバーサルデザインの徹底をすること。分散型リーダーシップにより合理的な組織とすること、学力の捉え方については、数値で表せる知識や技能だけを追求しないこと。自ら学ぶ力、課題解決能力を信じているという点が日本とは違っていると感じた。
------	--

高梁市教育委員会会議規則第21条第2項の規定により、ここに署名する。

令和 5 年 4 月 28 日

署名委員 吉川 昭

署名委員 川上はる江

作成職員 福本真紀子